

川越教会の皆さんへ

「ご復活の主が皆さんとともに」

最初に、新型コロナウイルス感染症のため帰天された方々の神のみ許にある平安、また現在罹患しておられる方々の一日も早いご回復、そしてすべての皆さんに神の御守りを心からお祈り申し上げます。

ウイルス感染症予防のため公開のミサが中止される中で、皆さんにご挨拶もできないままに新しい任地への異動となりますことを誠に心苦しく思っています。

振り返れば、前任の山口明裕神父さまの突然の辞任を受けて、2013年5月に川越教会に着任させていただき、気が付けばすでに7年が経過いたします。この間、2017年には川越教会（小教区）創設百周年を皆さんとともに祝いさせていただきましたことは、わたしにとって分を越えた光栄であり、また生涯の想い出となりました。この7年の間、司祭であるわたしとともにご一緒にごミサを捧げ続けてくださった皆さんに心より感謝申し上げます。それだけに、皆さんとともにごミサを捧げることができません現状に、本当に心を痛めています。復活祭をもって担当司祭は交代いたしますが、川越教会がごミサの共同体としての歩みを一日も早く再開できますようにと、神の御あわれみを希（こいねが）います。その日が必ず来ることを確信して。

この7年の間、川越教会の担当司祭として、わたしが願い続けて来たことはただ一つでした。それは、皆さんお一人おひとりが、秘跡中の秘跡であるごミサにおいて、秘跡の内に現存されるご復活の主キリストにお会いくださること。もちろん、それを可能としてくださいるのは、秘跡において豊かに、そして確実に働かれる聖霊によることです。

ごミサが、皆さんにとってご現存の主キリストと出会いの時であれば、あとは主キリストご自身が皆さんを確実に守り、養い育ててくださいます。否、それ以上です。ごミサでご自身を秘跡（ご聖体）として皆さん

にお与えくださる主キリストは、ご聖体の内に聖霊において働き、皆さんを内からご自身の似姿に変えて行ってください。

カトリックの伝統は、ごミサにおける主キリストとの出会いによる「聖化」の伝統です。二千年のカトリックのごミサの伝統の中で、創設百年の川越教会は若い教会です。若いゆえに、カトリックの長く深く大きく豊かな信仰の伝統からまだ多くのことを学ぶ必要があります。しかし、若さゆえの良い点があります。それは純粋さであり、そしてひたむきに神を求める情熱です。西欧の教会で養われ、西欧の教会に司祭として長く仕えた後に、不思議な神の御導きで祖国日本の教会に遣わされた私には、日本の教会の若さがまぶしく感じられます。

愛する川越教会の皆さん、どうぞ若さゆえの純粋さ、神を求める情熱を決して失わないでください。これまでのように、ごミサを大切になさってください。純粋に、情熱をもって、健やかで、さわやかな信仰を求め続けて行ってください。主キリストは、皆さんに必ずお応えくださいます。純粋に、情熱をもって。

ご復活祭を待ってわたしは新しい任地に異動いたします。しかし、ごミサは一つです。そして、ごミサでお会いさせていただく主キリストは、ただおひとりです。川越の地から離れても、ごミサで、主キリストにおいて、これからも川越教会の皆さんと歩みをとみにさせていただけることを信じています。皆さん、7年のあいだ、ほんとうにありがとうございます。

ご復活の主キリストの御祝福が、皆さんの上に豊かにありますように。

主キリストの内に、

ヨハネ 加藤 智 神父

2020年聖週間